資料１－３

独立行政法人
鉄道建設・運輸施設整備支援機構
鉄道建設本部　北海道新幹線建設局
局長　●●　様

北海道新幹線倶知安駅の整備に関する

要　望　書

（素案）

令和３年●月

北海道倶知安町

北海道新幹線新函館北斗・札幌間の令和 12 年度末（2030 年度末）の完成に向けた貴機構のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

本町としましては、国際的なスノーリゾート地であることを意識しつつ、新幹線開業に伴い、羊蹄山麓地域の玄関口である倶知安駅とその周辺の更なる地域の賑わい創出につながる計画及びまちづくりを進めていきたいと考えております。

本町ではこれまでに、北海道新幹線倶知安駅の開業に向け、魅力あるまちづくりを形成するために、平成 26 年度より駅及び駅周辺整備に関する検討を進めてまいりました。

北海道新幹線新函館北斗・札幌間の開業を 10 年後に控えた現在、地域の意見を反映させた北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプトを作成することを目的に、「北海道新幹線倶知安駅駅舎デザインコンセプト検討委員会」を設置し、駅舎デザインコンセプト及び駅舎・駅前広場の検討を行ってきました。

駅舎デザインコンセプトを検討する際には、地域住民の意見を把握するためのアンケート調査結果を踏まえるとともに、地域をとりまく状況の変化も念頭に置きながら、駅利用者の使いやすさと国際的リゾート地を有する倶知安町らしさを合わせもった駅舎デザインコンセプトをとりまとめました。

つきましては、今後の駅舎建設にあたり、新幹線駅に寄せる地域の期待をご理解頂き、本紙にまとめました駅舎デザインコンセプトを最大限反映くださいますよう、特段のご配慮をお願いいたします。

倶知安町長　　文　字　　一　志

北海道新幹線　倶知安駅　デザインコンセプト

『羊蹄山（ふるさと）』へ帰りたくなる未来の駅

＜説明＞

四季折々の顔を持つ町のシンボルである羊蹄山と調和した駅づくりに加え、地元住民が「ふるさと」に帰りたくなるとともに、一度訪れた方ももう一度行きたくなる（帰りたくなる）ような暖かみを創出する。さらに、日本を代表するリゾート地であるニセコエリアをイメージできるような「未来」のまちづくりを想像させるような駅舎イメージ。

【附帯意見】

新幹線駅舎に係る附帯意見として、次のとおり要望します。

※駅舎デザインコンセプトでは伝えきれない、駅舎デザインに関する意見をここで反映するイメージです。

※以下、記載例

〇羊蹄山やニセコ連峰を眺望できる駅舎

〇羊蹄山を含めた豊富な自然との調和

〇地域の自然素材（木材や石）の活用

〇国際的なスノーリゾート地を考慮した、インバウンド客も利用しやすい駅